

まほろば秦野通信

平成29年3月14日
秦野市市長公室広報課

タイトル	～ 多くの人たちに郷土の身近な自然を知ってほしい～ 自身が書いた「秦野の四季」100冊を秦野市に贈呈
When	3月17日(金曜日) 午後0時50分～1時20分
Where	市役所本庁舎 3階市長応接室
Who	贈呈者：岡田榮子（名古屋在住、市社会教育委員・東公民館） ※贈呈式には古谷市長、望月教育委員長、内田教育長が出席
What (なにを)	＜贈呈本の概要等＞ ◇書籍名：「秦野の四季～里地里山の生きもの～」 ◇著者・発行：岡田榮子・平成29年2月13日発行 岡田氏は自然観察委員としても活躍。平成20年からタウンニュースにコラム「秦野の四季」を連載しているが、これを今年2月に1冊の本にまとめ出版した。本には、自然観察会や散歩で見つけた170の植物や鳥、昆虫などが紹介され、発見時のエピソードや名前の由来、自身が感じた魅力や撮影した写真などが掲載されています。
How (どのように)	＜寄附の経過等＞ 岡田氏は、約20年前から自然観察会や自然観察指導員養成講座などを通じ、自然観察の知識を深め、平成12年には里地里山の自然観察グループ「あすなろの会」を発足、現在も代表を務めています。また、日本自然保護協会の自然観察指導員として、市内各公民館の観察会の講師も務めています。
Why (なぜ)	今回、自費出版した著書を公民館や小中学校の図書館などに配架し、気軽に手に触れてもらうことで、郷土秦野の身近な自然に関心を寄せてほしいと100冊寄贈いただけることになりました。 市としては、寄贈された本を、公民館、こども園・幼稚園、小・中学校、図書館などに配架します。
問い合わせ	生涯学習課 佐藤 電話0463(84)2792